

＜各事業＞

Ⅰ 子育て・青少年の育成支援

１ 子ども・青少年分野の取組の推進（児童福祉分科会、地域福祉保健計画事業）

（１）子育て支援機関・団体との連携

区、地区単位の子育てネットワーク会議、研修会に参加し、区役所、都筑区子育て支援センター「Popola(ポポラ)」や、区内の子育て支援機関・団体等との連携に努めました。

Ⅱ 高齢者・障害児者の支援

１ あんしんセンター事業（重点２）

市社協委託料・利用収入 374 千円【336 千円】

自身で金銭や大切な書類を管理することに不安のある高齢者や障害者が、安心して日常生活を送ることができるよう、権利擁護や成年後見制度に関する相談を受けるとともに、契約に基づく福祉サービスの利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、預金通帳など財産関係書類等預かりサービスを実施しました。また、成年後見制度や権利擁護事業の理解促進に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響により施設は面会禁止等の措置が取られましたが、施設職員等を通じて本人状況等の聞き取りによる支援をしました。

（１）権利擁護に関する相談支援

生活や金銭管理、成年後見制度など幅広く権利擁護に関する相談を受け、高齢者や障害者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう支援しました。

	令和４年度	令和３年度
初回相談	38 件	29 件
継続相談・活動	2,990 件	2,685 件

（２）権利擁護事業の契約によるサービス提供

契約に基づき、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などが困難な高齢者や障害者の生活を支援しました。

	令和４年度	令和３年度
定期訪問・金銭管理サービス契約者	49 名（終了８名）	49 名（終了７名）
預金通帳など財産預かりサービス契約者	12 名（終了１名）	16 名（終了４名）
成年後見制度移行契約者	1 名	0 名

（３）権利擁護事業や成年後見制度の理解促進

権利擁護事業や成年後見制度の理解促進のため、区役所、地域ケアプラザと連携し、事業の周知・啓発を行いました。

日 時	場 所	事 業 名	内 容
10月31日（月） 9：00～12：00	都筑区役所 6階会議室	新人ケアマネジャー研修	権利擁護事業（あんしんセンター）について説明

（４）成年後見サポートネットの実施

成年後見制度がより円滑に活用されるよう、区役所とともに協働で事務局を担い、地域包括支援センターとの連携により、専門職後見人も参加した事例検討を実施し、成年後見制度の課題を共有しました（年４回）。なお、分科会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

日 時	会議名	内 容
第１回 5月16日（月） 15：00～16：00	【第一部】 専門職会議	(1) 令和３年度対応状況一覧表、区域の課題共有 (2) モニタリング
第２回 9月14日（水） 14：30～15：15	【第一部】 専門職会議	(1) 専門職派遣について (2) チームの継続支援、モニタリング
	全体会 中止	中止
第３回 12月14日（水） 14：30～15：15 15：30～17：00	【第一部】 専門職会議	(1) モニタリング事例の共有、検討
	【第二部】 全体会	(1) 顔の見えるネットワーク構築を目指したグループワーク
第４回 3月1日（水） 15：00～16：00	専門職会議	(1) モニタリング検討 (2) アセスメントシートの検討について
2月15日（水） 15：00～17：00	市民後見 サポートネット	「被後見人等の権利擁護について」 事例検討、グループワーク

※開催場所：都筑区役所又はかけはし都筑

（５）実施体制の強化

カンファレンスを月１回実施し、ケース検討やモニタリングを行うとともに、職員のスキルアップを図りました。検討に際しては、契約者への直接支援に加え、地域での支援や区役所、地域包括支援センター等との連携の視点を持って行いました。

また、他機関と連携し、横浜市社会福祉協議会で実施している市民後見人バンク登録者への継続的な支援に取り組みました。

2 外出支援・送迎サービス事業

市社協委託料・利用料収入 2,830 千円[2,870 千円]

一般の公共交通機関（タクシーを含む）を単独で利用することが困難な高齢者や障害者等を対象に、ボランティアの運転による専用の送迎車両で、医療機関への通院や社会参加のための外出の送迎を行いました。なお、外出支援・送迎サービス事業は、車両の経年劣化による維持管理やボランティアの確保が困難なことから、令和5年3月31日をもって事業を終了いたしました。

（1）外出支援サービス、区社協送迎サービス事業の実施

昨年度に引き続き実施要綱に基づいた適正な事業実施に努めました。利用件数は、送迎ボランティアの定年制の導入や、新型コロナウイルス感染症の影響により減少しました。

	令和4年度	令和3年度
外出支援サービス利用件数 (市委託事業)	2件 (高齢者 2件) (難病患者0件)	54件 (高齢者 53件) (難病患者 1件)
区社協送迎サービス利用件数	206件	301件
合計	208件	355件

3 高齢者支援事業（重点2）（高齢福祉分科会 地域福祉保健計画事業）

高齢福祉分科会を中心として、第4期地域福祉保健計画の取組を推進するとともに、区や各地域ケアプラザとの連携により、次の活動を行いました。

（1）地域ケア会議等への参画

各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議への参加を通し、課題の共有を行うとともに、区社協、地区社協活動の連携により解決に向けた取組を進めました。

（2）区役所、地域ケアプラザ、介護保険事業所等関係機関の連絡会への参加

区・各地域ケアプラザ、関係機関が開催する各種会議等への参加を通じて、課題の共有を図るとともに、解決に向けた取組を進めました。

（3）認知症高齢者への支援

認知症サポート連絡会や認知症カフェ連絡会へ協力し、認知症の方やその家族、地域住民等が、気軽に集える「サロン」や「カフェ」の活動や活動支援をしました。

4 障害児・者支援事業（重点2）（障害福祉分科会 地域福祉保健計画事業）

（1）～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ（実行委員会形式）

善意銀行 32 千円[66 千円]

障害者の社会参加・意識の向上を図るとともに、地域で暮らす人々が、障害の有無に関わらずふれあうことを通じ、福祉のこころを育むことを目的に、各種団体と連携し様々な啓発活動を行いました。

① いもほり

J A横浜東方支店およびJ A横浜青壮年部都田支部の協力により障害福祉関係者を対象にいもほりを企画しました。今年度は、社会福祉法人同愛会の地域貢献事業として実施いたしました。

日にち	場 所	内 容
5月23日（月）	J A横浜きた 総合センター農地	さつまいもの苗植え
10月16日（日）		さつまいもの収穫

② 障害者と地域の共生フェスタ

「障害者週間」（12月3日～9日）を中心に障害者の社会参加と障害福祉への理解向上を目的に各種団体と連携し啓発活動を行いました。

日程 会場	12月2日（金）～12月7日（水）／ 区役所区民ホール
内容	「障害者と地域の共生フェスタ」の一環として、区役所区民ホールにてフォトグラフィア後藤京子氏による「障がいのあるお子さんとそのご家族の写真展」と障害福祉団体の活動を紹介する「障害者週間キャンペーンパネル展」を開催。

（2）各種連絡会への運営・参加協力

① 区域の連絡会に参加

都筑区自立支援協議会（事務局）

② 各種運営委員会への参加協力

地域活動ホーム、地域活動支援センター、障害者グループホームの運営委員として参加協力しました。

クラブハウスすてっぷなな／ごぼうハウス都筑／つづき地域活動ホームくさぶえ／都筑区生活支援センターこころ野／都筑ハーベストの会／ハイツ都筑／横浜市北部地域療育センター／アスタPC

5 移動情報センター事業

市社協委託費・市補助金 9,413 千円[9,420 千円]

移動に困難を抱える障害者等からの相談に応じて、各サービス事業者等の情報提供や紹介を行いました。また、横浜市ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティア、支援対象者の登録事務を行いました。

（1）障害のある方の外出相談窓口（移動情報センター事業）

障害者等からの移動に関する相談に対して、支援制度の案内や福祉サービスなどの紹介等、コーディネートを行いました。

① 移動に関する情報のコーディネート件数

			令和4年度	令和3年度
連絡調整・相談件数			1,538 件	1,029 件
実相談数			71 件	62 件
障害 種別	身体障害	知的障害	16 件	6 件
		精神障害	45 件	41 件
		重複障害	1 件	4 件
		その他	7 件	9 件
			2 件	2 件

② 関係機関との連携（通年）

（ア）移動推進会議の開催

障害者の家族、つづき地域活動ホームくさぶえ等、障害者支援機関をメンバーとする移動推進会議を開催し、センターの運営状況について情報共有を行うとともに、推進方法等について検討しました。

日 時	参加者数	議 題
6 月 15 日（水） 10：00～11：20	12 名	・ 令和 3 年度事業実績報告について ・ 令和 4 年度事業計画について ・ 事例検討
2 月 3 日（金） 10：00～12：00	8 名	・ 令和 4 年度実績状況報告 ・ 今年度の取組について ・ 事例検討

（イ）障害福祉サービス事業所等との連携

相談に合わせて移動支援関連事業を行う事業所の状況を随時把握し、コーディネートに活かしました。また、自立支援協議会 居宅・移動部会に参加し連携に努めました。

○自立支援協議会居宅・移動部会および幹事会への参加。

○事業所情報の収集 電話等による情報収集を随時実施。

③ 事業 PR 活動について

（ア）関係機関会議等への出席

各地区民生委員児童委員協議会の会合に参加し、移動情報センター通信をもとに事業説明を行った。

（イ）移動情報センター通信の発行

事業の周知を通してニーズの発掘や支援者の確保を行うことを目的に、以下の広報活動を実施しました。

○移動情報センター通信の発行

	発行日	発行数	主な配布先
移動情報 センター通信 Vol. 7	6 月 21 日	1,000 部	ガイドボランティア・支援対象者、区内小中学校、近隣区の特別支援学校・福祉系の学校、地区センター、地域ケアプラザ等関係機関、ボランティアセンター登録者など
移動情報 センター通信 Vol. 7	1 月 4 日	1,000 部	

○都筑区社協広報「しゅんらん」61 号にガイドボランティア活動掲載（9 月 34,500 部発行）

（2）ガイドボランティア事業

① ガイドボランティア事業の推進

横浜市ガイドボランティア事務取扱団体として、ガイドボランティア及び支援対象者の登録事務を行いました。

	令和 4 年度	令和 3 年度
ガイドボランティア登録人数	42 名	40 名
支援対象者登録人数	36 名	30 名
ガイドボランティア活動回数	1,191 件	709 件

② ガイドボランティアの育成・支援

(ア) 活動への参加呼びかけ

ボランティアセンター登録者へ移動情報センター通信を送付し、活動への参加を呼びかけました。また、ボランティアセンターと合同でメールマガジンを月1回配信し、活動への参加を募りました。（のべ7,078通配信）

(イ) ガイドボランティア養成講座の開催

障害への理解を深め、ガイドボランティア活動への参加者を育成・支援することを目的に、区ボランティアセンターと養成講座を開催しました。

日 時	参加者数	講座名 / 内容
3月4日（土） 10：00～11：15	14名	ガイドボランティア講座 「知的障害についてもっと知ろう！」 ①講義 ②体験 ③質疑応答
3月4日（土） 11：15～12：15	9名	ガイドボランティア講座終了後 「ガイドボランティア交流会」開催 日頃の活動や疑問に思っていることを共有しました。

Ⅲ 地域福祉推進の基盤づくり

1 ボランティア活動の推進（重点3）

区委託費・賛助会費 2,373千円 [2,960千円]

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンター運営委員会

ボランティアや地域の方々の意見を反映したボランティアセンターの運営を行うため、運営委員会を開催し、センターの運営方法や事業の方向性等を協議しました。

日 時	参加者数	主 な 議 題	結果
7月26日（火） 13：30～15：00	8名	・令和3年度 都筑区ボランティアセンター関連事業報告について ・令和4年度 都筑区ボランティアセンター事業計画および進捗状況について ・令和3年度 都筑区善意銀行寄託金品 受配結果について（報告） ・令和4年度 都筑区善意銀行 寄託金品受託状況について ・令和4年度「善意銀行配分金」第1回配分（案）について	承認
1月23日（月） 10：00～11：30	11名	・令和4年度 都筑区社協ボランティア関連事業 進捗状況について ・令和4年度 都筑区善意銀行寄託金品受託状況について ・令和4年度「善意銀行配分金」第2回配分（案）について	承認

② ボランティア相談及び調整事業

ボランティアに関する様々な相談を受け、調整を行いました。昨年度に引き続き、調整は感染防止対策に配慮しながら行いましたが、昨年度よりも、相談や活動件数が増え、少しずつボランティア活動が再開されつつあります。

また、地域ケアプラザ等の関係機関や内部間連携を意識したコーディネートを行い、ニーズに即した対応に努めるとともに、ボランティアでは対応が困難な相談や地域での支援の必要性が高いものについては、関係機関や地域組織等に協力を相談し対応しました。

○ボランティア相談

		令和4年度	令和3年度
ボランティア関係相談		2,299 件	2,141 件
ボランティア新規登録数	個人登録	80 名（総計 371 名）	50 名（総計 340 名）
	団体登録	3 団体／95 名 （総計 121 団体／3,163 名）	8 団体／400 名 （総計 123 団体／3,154 名）
ボランティア依頼 ボランティア活動希望 調整数	依頼件数	212 件 （単発 70、継続 142）	186 件 （単発 72、継続 114）
	調整数 ※1	1,496 回	1,445 回
	ボランティア派遣人数	63 名	93 名
	ボランティア調整率 ※2	84.0%	77.8%

※1 調整数は単発・継続をあわせた調整数です。

※2 ボランティア調整率には依頼取り下げ件数は含んでいません。

○その他相談

		令和4年度	令和3年度
機材貸出	高齢者疑似体験セット	6 件	1 件
	白杖	1 件	1 件
	アイマスク	0 件	0 件
	点字器	3 件	1 件
各種ボランティア 保険の加入受付	ボランティア活動保険	162 件	182 件
	ボランティア行事用保険	344 件	285 件
	福祉サービス総合補償	11 件	10 件
	送迎サービス補償制度	1 件	2 件

※接触による新型コロナウイルス感染防止のため、アイマスク及び視覚障害ゴーグル（高齢者疑似体験セット含の一部）は貸出を停止しました。

③ 登録ボランティアの活動支援及び状況把握

単発の活動に関しては活動終了後、継続の活動については活動開始後3カ月をめぐりにフォローアップの連絡を入れ、活動状況や課題の把握に努めました。また、登録または更新後3年を経過した個人登録ボランティアについては登録更新及び活動現況やボランティアセンターへの要望などのアンケートを実施しました。（対象143名/回答：69名（うち更新有：40））

④ 各種ボランティア講座の開催・協力等

ボランティア活動に参加するきっかけづくりのため、また既に活動している方のフォローアップ及び必要な知識・スキルを得ることを目的に、関係機関と連携してボランティア講座を行いました。

日 時	参加者数	講座名 / 内容	共催等
5月31日(火) 10:00～12:00	29名	令和4年度 ボランティア・地域活動者向け講座 「コロナ禍から活動のヒントを探る！～あなたの活動が一年後に目指す姿は？～」 内容：コロナ禍での地域活動についての講義 および質疑応答	ボランティア・市民活動団体等分科会
7月28日(木) 13:15～14:45	14名	ボランティアサロン(第1回) 内容：参加者交流／ボランティアセンター案内	
2月8日(水) 10:00～12:00	32名	「ボランティア・地域活動者向け講座『若者と地域のつながりづくりのコツ』」ボランティアサロン(第2回) 内容：講義および対面演習／ボランティアセンター案内	ボランティア・市民活動団体等分科会

⑤ ボランティア交流事業

ボランティア団体同士が横のつながりを持つことで悩みや課題・その解決策を共有し、より円滑な活動につなげるとともに、活動に必要なスキル習得を目的に、ボランティア・市民活動等分科会にて方向性を検討の上、団体交流会を開催しました。

日 時	参加者数	内容
9月21日(水) 13:30～15:30	28名	テーマ：「地域で支える認知症」 対 象：ボランティア・市民活動等分科会加盟団体 地区社協分科会加盟団体 ボランティアセンター登録団体 内 容：日本赤十字神奈川県支部 指導員 講演 参加者交流
1月18日(水) 13:30～15:00	35名	対 象：ボランティア・市民活動等分科会加盟団体 ボランティアセンター登録団体 都筑区福祉保健活動拠点「かけはし都筑」登録団体 内 容：参加者交流・情報交換

⑥ ボランティア広報啓発事業

多くの方にボランティア情報を届け活動につなげることを目的に、広報の発行やホームページの運営等を行いました。

実施方法	発行 頻度	内 容	発行部数等
ボランティア情報 「ボランティアどっと 来い！都筑」の発行	4 回 ／年	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	のべ 7,000 部
メールマガジンの発行	12 回 ／年	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	のべ 7,078 通
ホームページによるボ ランティア情報の提供	随時	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	アクセス数 52,494 件
福祉保健活動拠点内ボ ランティア情報コーナ ーの設置・運営	随時	ボランティア募集情報、講座情報、 助成金情報、ボランティア保険情報など	-
パネル展示	1 回	ボランティアセンター案内及びボランテ ィア・市民活動等分科会参加グループの 活動紹介パネルを、つづきあいフォーラ ムパネル展にて展示 2月16日（木）～22日（水）	-

2 災害ボランティアセンター設置体制の整備

市社協補助金・賛助会費 39 千円 [32 千円]

（１）災害ボランティアセンターの体制整備

発災時に迅速に都筑区災害ボランティアセンターの開設を行えるよう、都筑区災害ボランティ
アネットワークと協働し、運営委員会及び定例会議の開催、並びにシミュレーション訓練を実施
しました。また、新規災害ボランティアコーディネーターの養成のため、各種啓発事業の開催に
ついては協働して実施しました。

① 都筑区災害ボランティアネットワーク総会、運営委員会及び定例会

（ア）総会：1 回／年 （イ）定例会議：6 回／年

② その他の活動

（ア）つづき防災セミナー（都筑区災害ボランティアネットワーク共催）

日時：11 月 23 日（水・祝）13：30～17：00

場所：かけはし都筑

参加者：13 名

内容：

○講演 1 講師 中村 泰基 係長（都筑区総務課危機管理・地域防災担当）

講演テーマ「災害の備えと市の取り組みについて」

○講演 2 講師 早川 雅子 氏（災害ボランティアネットワーク）

講演テーマ「親子で考える防災クイズ ―子どもたちと一緒に命を守ろう―」

○講演 3 講師 加藤 綾子 係長（都筑区生活衛生課 環境衛生係）

講演テーマ「都筑区のペット防災対策」

（イ）つづきマンション防災セミナー（都筑区災害ボランティアネットワーク共催）

日時：2 月 23 日（木・祝）13：30～17：00

場所：かけはし都筑

参加者：21 名

内容：

- 講演1 講師 奥田 建蔵 氏（(特非) かながわ 311 ネットワーク）
講演テーマ「大規模地震が起きた時の管理組合の対応
～熊本地震で管理組合はどう動いたか～」
- 講演2 講師 後藤 浩志 会長（災害ボランティアネットワーク）
講演テーマ「よこはま防災力向上マンション認定制度の概要とその取り組み」
- ワークショップ（グループディスカッション）
テーマ「マンション防災を一步進めるために～課題の抽出とその対策を考える～」

3 善意銀行の運営

区民の方々から寄せられた善意の寄付を、地域福祉の活性化のために福祉活動団体や障害者団体等に配分金として配分し、物品寄付については、お渡し会での活用その他、会員向けにメールで配分案内をおこない、希望する団体に公募で配分を実施しました。

物品預託	34 件		物品配分	126 団体	
収 入			支 出		
前年度繰越金	3,909,265 円	19 件	都筑区ふれあい助成金への配分	415,000 円	26 件 3 件
4 年度預託金	1,919,868 円		共同募金配分事業年末たすけあい募金配分事業へ（食支援事業）	100,000 円	
3 年度返還金	99,000 円		あい基金へ配分	82,500 円	
利息・他	39 円		第 1 回配分	903,000 円	
			第 2 回配分	411,000 円	
			次年度への繰越金	4,016,672 円	
合 計	5,928,172 円		合 計	5,928,172 円	

※内訳は資料 1（31 ページ）参照

4 都筑区福祉保健活動拠点「かけはし都筑」の運営

区委託金・賛助会費・利用料
18,763 千円 [17,609 千円]

福祉保健活動拠点指定管理者として、ボランティアに関する相談及び育成、個人・団体の地域福祉保健活動への参加及び連携に関する支援、施設の利用調整及び保守管理業務を行いました。また、拠点が地域住民の自主的な福祉活動・保健活動の中核となるよう利用を促進しました。

（1）利用登録団体数

団体種別	令和 4 年度	令和 3 年度
ボランティアグループ	23 団体	23 団体
当事者団体グループ	28 団体	31 団体
福祉保健活動団体	42 団体	43 団体
その他市民活動団体	47 団体	49 団体
合 計	140 団体	146 団体

(2) 部屋別利用件数

部屋名	令和4年度	令和3年度
団体交流室	657 件	566 件
多目的研修室	353 件	381 件
点字製作室	84 件	79 件
録音室	40 件	30 件
対面朗読室・編集室	111 件	112 件
合 計	1,245 件	1,168 件

※福祉保健活動拠点の利用状況を WEB 上で情報を公開しました。(原則毎日更新)

(3) 相談件数

相談内容	令和4年度	令和3年度
拠点の施設・設備利用関係	2,711 件	2,792 件
ボランティア関係	2,299 件	2,141 件
合 計	5,010 件	4,933 件

(4) 拠点利用団体説明会の開催

日 時	参加数	内 容
9 月 21 日(水) 13:30~15:30	28 名 (22 団体)	「地域で支える認知症」をテーマに、身近な地域での支えあい活動について考える
1 月 19 日(木) 15:15~15:45	20 名 (20 団体)	ロッカー抽選の結果について 「かけはし都筑」利用の手引きの変更について

(5) 福祉保健活動拠点情報紙「かけはし都筑インフォメーション」の発行

発行頻度	1 回／年	発行部数	各 600 部
主な内容	拠点利用紹介、各種連絡事項、半年先予約開始日		

5 地域への福祉啓発推進のための事業

共同募金配分金・正会費 803 千円 [427 千円]

(1) 広報紙「しゅんらん」の発行

区民に向けた福祉啓発・理解を深めるため、広報紙「しゅんらん」を発行し、区社協活動や地区社協活動、共同募金など、都筑区内で行われている福祉活動の情報提供を行いました。

発行回数	年 3 回	広告掲載	無
発行部数	60 号 38,500 部 (タウンニュース 半面) 61 号 38,000 部 (タウンニュース 半面) 62 号 6,000 部 (A 4 見開き 4 ページ 班回覧、公共施設にて配架等)		
内 容	●60 号 (令和 4 年 7 月発行) 主な内容：賛助会員募集 社会福祉功労者 令和 3 年度収支決算報告及び令和 4 年度事業計画 みなさまの地域活動を応援しています！ (冊子「コロナ禍から活動のヒントをさぐる！」) ●61 号 (令和 4 年 10 月発行) 主な内容：共同募金ご協力をお願い、共同募金に支えられている地域の福祉活動 (ふれんど♡らぶ「おはよう食堂」、勝田地区社協「見守り訪問活動」、NPO 法人スペースシップ 2009) 区社協からのお知らせ (ボランティアセンター、移動情報センター、傾聴講座案内、HP リニューアル) ●62 号 (令和 5 年 3 月発行) 主な内容：あなたの“身近”な地区社会福祉協議会 (ふれあいの丘地区社協、佐江戸加賀原地区社協、東山田地区社協、山田地区社協、勝田茅ヶ崎地区社協、中川地区社協) 共同募金運動のお礼、使いみちの紹介 (食のお渡し会) 善意銀行寄付者、寄付者からのメッセージ (ドキわくランド北山田店) 都筑区社会福祉大会、社会福祉功労者 正会員募集、正会員紹介 (特定非営利活動法人 都筑ハーベストの会) あんしんセンターの紹介		

(2) 区社協ホームページの運営

地域の活動など福祉に関する情報をより多くの方々に届けることを目的に、ホームページのリニューアルを行いました。

○ホームページアドレス <https://tuzuki-shakyo.jp>

更新回数	71 回	広告掲載	無
掲載内容	各種事業の紹介及びボランティア・地域活動の情報等		
更新内容	ボランティア情報、助成金情報、地区社協活動、かけはし都筑の利用方法の変更、生活福祉資金特例貸付について等		
アクセス数	52,494 件、平均 144 件／日 (令和 3 年度：49,657 件、平均 136 件／日)		

(3) つづき あいフォーラムの開催（都筑区社会福祉大会）

社会福祉関係者・団体の顕彰と地域福祉推進を目的とする講演等を実施しました。

日 時	2月18日（土）14：00～16：00		
参加人数	206名		
場 所	都筑公会堂		
内 容	第1部	●都筑区社会福祉大会（社会福祉功労者への顕彰） 日頃より地域の福祉活動やボランティア活動に取り組み、功労のあった方へ表彰状や感謝状を贈呈しました。 顕彰者：7団体／49名	
	第2部	●都筑区地域福祉保健計画 活動発表 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 川上 富雄教授より3名の地域活動者に“やりがい”や“課題”など日頃の活動で感じていることをインタビューしていただき、『「共感」「つながり」「伴走」ですすめる地域づくり』について講演いただきました。 【活動発表者】 ●都筑区茅ヶ崎東ささえあい連絡会 副代表 足立 亜矢子氏 ●地域訓練会バナナのおうち 副代表 釘本 涼子氏 ●都筑区川和地区社会福祉協議会 事務局長 山口 明氏	

IV 地域福祉推進のための支援事業

1 「身近な地域のつながり・支えあい活動」の推進（重点1）

(1) 住民活動による課題解決のための仕組みづくり

個々のニーズや困りごとを地域が主体的に把握し、「身近な地域住民による助けあい活動」や「サロン活動」等を通じて、課題解決のための仕組みづくりを継続して取り組みました。

① 地区社協合同情報交換会の開催

希望するテーマごとに、地区社協の役員等が3地区ごとに集まり、区、区社協、ケアプラザ職員も交えて、意見交換や情報交換を行いました。

開催日時	テーマ	地区	参加者数
7月12日（火） 13：00～14：30	「見守り」 「ちょこっとボランティア」	かちだ 池辺 渋沢	14名
	「人材育成」 「社協運営」	東山田 山田 都田	15名
	「人材育成」 「社協運営」	勝田茅ヶ崎 新栄早渕 ふれあいの丘	12名

② 地区社協のてびきを参考とした取組

改定された横浜市社会福祉協議会の「地区社協のてびき」を活用した、地区社協関係者及びケアプラザ職員等を対象とした研修を開催し、住民及び支援機関が一体となった、困りごとへの対応について検討しました。

○職員向け研修

開催日時	テーマ	講師	参加者数
7月8日（金） 10：00～12：00	地域アセスメント研修	駒澤大学文学部社会学科 社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏	19 名

③ 地区支援会議の開催

地区支援を行う職員のスキルアップを目指し、地区支援を行う中で、課題と感じていることを職員間で共有、検討する会議を年間8回実施しました。

（2）生活困窮者支援

① 食のお渡し会の実施とフードドライブ

区役所等関係機関や、生活福祉資金の貸付相談業務等を通じて寄せられた生活困窮者の相談に対して、株式会社 IKEA、都筑区民、横浜市資源循環局等から提供された食品を食料支援として提供しました。また、子育て世帯（事前申し込み制）への食料支援「食のお渡し会」を実施し、51件の申し込みがあり食料を支援しました。

○食料支援対応数

	令和4年度	令和3年度
相談数	100 件	87 件
食品提供数	100 件	87 件

② 子ども・困窮世帯支援団体情報交換会

関係機関、団体と情報交換会をおこないました。（年2回実施）

③ 子どものあんしん居場所マップの作成

関係団体等に協力いただき、区役所生活支援課と共催で子どもが安心して過ごせるための居場所マップを作成しました。



2 生活支援体制整備事業の推進（重点1）

市社協委託費 200 千円 [200 千円]

高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けられるために多様な主体が連携・協力する地域づくり（地域包括ケアシステム）の構築を目指し取組を進めました。

特に地域ケアプラザとの一体的な連携体制で、これまでの地域福祉推進の実践を活かし、地域状況の把握や社会資源の開発を始めとした生活支援・介護予防の充実した地域づくりの取組を進めました。

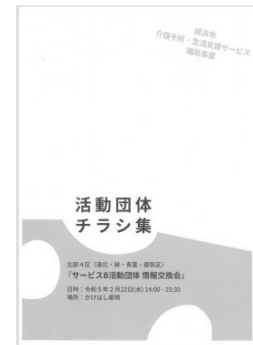
（1）第1層（区域）の取組

区役所・地域ケアプラザと事業推進のための区推進会議を7回開催。（うち2回は書面開催）

・介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）の団体支援及び情報共有

令和4年度は、北部ブロック4区（港北区、緑区、青葉区、都筑区）共催で活動団体の情報交換会を実施しました。

- ・高齢者等移動支援を考える会（協議体）を開催し、移動に関する意見交換を行いました。
- ・生活支援コーディネーター連絡会内で検討を重ね、生活支援ボランティア交流会を実施しました。



（２）第２層（ケアプラザ圏域）の支援

- ① コーディネーター連絡会の開催（毎月開催／全 12 回 ※オンライン・臨時開催あり）
地域活動交流と第２層生活支援コーディネーターの合同開催
- ② 各種研修への参加・実施
(ア) 生活支援体制整備研修（市域）への参加
(イ) 移動販売にかかる勉強会
(ウ) 地域アセスメント研修会の開催（１回）（再掲）
- ③ 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスＢ）の活動支援（３団体）・新規相談
- ④ 生活支援体制整備事業の発信と啓発
広報よこはま“都筑区版”特集ページへの掲載 12月号

（３）Webでの情報発信（情報公開）

“ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ”の情報更新

3 地域ケアプラザとの連携強化

本会と各地域ケアプラザが、個別の課題を抱えた要援護者等への支援や地域づくりに一体的に取り組むため、各種連絡会、会議等への参加などを通じて、相互の連携強化を図りました。

- (1) コーディネーター連絡会の開催（毎月開催）
- (2) 所長会議への参加（毎月）
- (3) 運営協議会や地域支え合い連絡会に参加（随時）
- (4) 地域包括支援センター・区社協・区連絡会に参加（随時）
- (5) 地域包括支援センター職種別分科会に参加（毎月開催）
- (6) 各地域ケアプラザの圏域カンファレンスに参加（毎月開催）
- (7) 各地域ケアプラザ及び区が主催する地域ケア会議に参加（随時）
- (8) 地域ケアプラザなどのイベント・研修会に参加協力（随時）

4 都筑区ふれあい助成金などを通じた福祉保健活動への支援（重点３）

共同募金配分金・市社協補助金 6,831 千円 [6,721 千円]

ボランティア活動団体、市民活動団体、障害者団体が継続的な活動が行えるよう、団体が行う事業に対して助成を行うとともに、各団体の活動状況を把握し継続的に支援しました。

(1) 都筑区ふれあい助成金の実施

	令和4年度	令和3年度
申請団体	90 団体	98 団体
配分団体	90 団体	97 団体
辞退・返還	0 団体	8 団体
配分総額	6,617,000 円 財源内訳：市社協補助金 3,721,200 円 共同募金 2,480,800 円 善意銀行 415,000 円	6,717,000 円 財源内訳：市社協補助金 3,769,200 円 共同募金 2,512,800 円 善意銀行 435,000 円

※配分委員会の開催については25ページ、配分団体及び配分金額については資料2 (35ページ) 参照

5 年末たすけあい配分金事業

年末たすけあい配分金 2,171 千円 [2,296 千円]

地域福祉の推進のため、年末たすけあい募金を財源として、地区社会福祉協議会が実施する地域の要援護者等の地域見守り活動及び地域の福祉団体が年末に行う活動に助成しました。

(1) 地区社協助成（見守り訪問助成）

地区社会福祉協議会が年間を通じて実施する、要援護者等の見守り活動について、活動費の助成による支援を行いました。

	助成区分	令和4年度	令和3年度
助成金額	総 額	1,845,000 円	1,700,000 円
内訳等	①見守り訪問活動 ②物品購入 ③連絡会	14 地区 1,625,000 円 3 地区 150,000 円 7 地区 70,000 円	14 地区 1,530,000 円 2 地区 100,000 円 7 地区 70,000 円

※1 地区社協で複数区分への助成申請が可能

(2) 団体助成

区内のボランティア団体や障害者団体、地域福祉保健団体が年末年始に実施する活動を支援しました。

	令和4年度	令和3年度
助成金額	530,000 円	490,622 円
助成団体数	14 団体	15 団体

※地区社協助成及び団体助成の詳細は資料3 (39ページ) 参照

6 地区社会福祉協議会の支援（重点1）

地区社会福祉協議会活動が円滑に進むよう、地区社協活動の支援、課題検討、活動費助成を行いました。

(1) 地区社協分科会・事務局長会議の開催

地区社協分科会及び地区社協事務局長会議を開催しました。

① 地区社協分科会（合同会議）

V-2-(1)-② (23ページ) 参照

② 事務局長会議

日 時	参加人数	主な内容	結果
4月12日(火) 10:00～11:45	14名	区社協事業計画・収支予算／地区社協運営費・活動費／各種補助金・助成金の申請／賛助会員の募集／地区社協合同情報交換会について／地区社協研修（新人向け）について／地区社協ヒアリング（意見交換会）について	承認
10月18日(火) 10:00～11:40	14名	食のお渡し会について／賛助会費実績（9月末現在）／「SNSを活用した広報活動について」研修報告／神奈川県および横浜市優良地区社協表彰について	承認
2月14日(火) 10:00～12:00	13名	令和4年度賛助会員報告と令和5年度募集について／地区社協活動費精算書、地区社協活動費助成報告書について／令和5年度地区社協会議日程（案）について／「令和4年度 食のお渡し会」について（報告）	承認

（２）地区社協研修会の開催

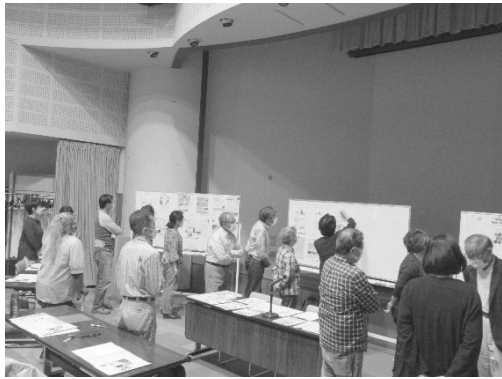
地区社協役員・活動者を対象とした地区社協関係者研修を開催しました。なお、より地区社協のニーズに沿う内容とするため、地区社協、地域ケアプラザ職員へも協力を依頼しました。

① 区社協主催研修（基礎編）

日 時	6月29日（水） 14：00～15：15
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	テーマ 「地区社協の活動について」 講師 区社協事務局長
参加人数	地区社協役員等 19名

② 区社協主催研修（発展編）

日 時	①6月 6日（月） 14：00～16：00 ②7月15日（金） 14：00～16：00 ③10月12日（水） 14：00～16：00
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	①魅力的な広報紙の作り方 講師：株式会社オープン 高橋誠一氏 ②魅力的なチラシの作り方 講師：株式会社オープン 高橋誠一氏 ③SNSを活用した広報活動について 講師：田園調布学園大学 学部長・教授 村井祐一氏
参加人数	①30名 ②27名 ③17名



③ 区社協主催研修（会員研修）

日 時	9 月 28 日（水） 13：30～16：30
場 所	かけはし都筑 多目的研修室
内 容	「初任者のためのこころのリフレッシュ研修」 （ウィリング横浜・都筑区社協共催） 講師 湘南工科大学 小俣 沙知 氏
参加人数	32 名（うち都筑区 3 名）

（３）地区社協ヒアリングの実施

各地区社協活動の状況確認や課題の共有・事業方針の検討等を行うとともに、区社協が進める地域支援のための基本方針の一助としました。

・実施状況：14 地区にて実施

（４）地区社協活動の広報・PR

地区社協の活動を広く周知するため、広報紙などを活用して情報提供を行いました。

ア ホームページでの地区社協情報の提供

イ 区社協広報紙での活動紹介

（５）地区社協活動の支援

市社協補助金・共同募金配分金・賛助会費 8,211 千円 [6,192 千円]

地区社会福祉協議会の活動が円滑に進むよう各種支援を行いました。

① 地区担当職員制による支援

地区担当職員を置き、担当職員が各地区の課題解決に向けて、各種会議やイベント等への参加などを通じて地域の活動やニーズを把握し、支援を進めました。

② 地区社協活動運営費の交付

活動費（世帯割・事業割）を交付し、地区社協活動を支援しました。

（ア）地区社協運営費（横浜市社協補助金）

指定事業の実施により、上限 50,000 円を交付。総額 700,000 円

（イ）地区社協活動費（世帯割）（都筑区社協補助金）

40,000 円を基礎交付額とし、これに世帯数等を加味して活動費を助成

・14 地区社協へ助成 総額 1,680,000 円

(ウ) 地区社協活動費（事業割）（都筑区社協補助金）

実施予定の事業に応じて助成

・14 地区社協へ助成 総額 2,795,000 円

※（ア）（イ）（ウ）の助成については資料 4（41 ページ）参照

③ 賛助会費還元金の助成

集められた区社協賛助会費の 51%を地区社協へ助成し活動を支援しました。

（V－4（25 ページ）参照）

7 都筑区地域福祉保健計画の推進（重点 9）

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができることをめざして、基本理念である『人と人との「であい ささえあい わかちあい」』の実現に向けた取組を進めました。

（1）第 4 期都筑区地域福祉保健計画の推進

① 区計画推進委員会の実施

開催日時	内 容
12 月 26 日（月） 10：00～11：45	・第 4 期都筑区地域福祉保健計画 区計画推進状況について ・「つづき あい基金」助成金審査会結果報告について 【意見交換】誰もが参画しやすい地域づくりの促進について

② 地区別計画の推進

地域の実状に応じた福祉保健の課題を共有するとともに、その解決に向けて話し合うために、地域住民や地域活動団体、施設など誰でも参加可能な地域懇談会を各地区で開催し、計画の推進を図りました。（主催：各連合自治会町内会・地区社協、共催：区・ケアプラザ）

令和 4 年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、縮小開催や既存会議に合わせて実施するなど、各地区が工夫して実施しました。

③ 「つづき あいフォーラム」（地域福祉保健計画発表会）の開催（再掲）

第 4 期都筑区地域福祉保健計画地区別計画を広く区民に周知すること目的に、都筑区社会福祉大会と同時開催しました。地区別計画の推進状況の発表、講師講演の中で、地域の中でつながることの大切さを共有しました。

日時・場所	2 月 18 日（土）14：00～16：00 都筑公会堂	参加人数	206 名
内 容	・都筑区社会福祉大会（社会福祉功労者への顕彰） ・地域福祉保健計画活動発表		

○パネル展示

日 時	2 月 16 日（木）～22 日（水）
場 所	都筑区民ホール（都筑区総合庁舎 1 階）
内 容	・地域福祉保健計画地区別計画の取組を紹介 地域における子育てや高齢者支援、健康づくりに関する活動の紹介 ボランティアグループの取組や活動紹介 区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザにおける福祉保健事業の紹介

(2) 「つづき あい基金」の運営及び活動助成

区補助金・善意銀行 613 千円 [192 千円]

善意銀行寄付金等を原資とし第4期地域福祉保健計画の推進のためコロナ禍における新たな生活様式に合わせた取組に対して助成をおこないました。

助成決定団体（件数）	助成決定額
3 団体（4 件）	165,000 円

※詳細は資料5（42 ページ）参照

※長く「つづき あい基金」の原資として「都筑区チャリティーゴルフ大会」の収益を充当してきましたが、一定の成果をあげたことから都筑区チャリティーゴルフ大会実行委員は解散となりました。また、委員会に残っていた残金については善意銀行へ寄付をしていただきました。

(3) 分科会を中心とした分野別の計画の推進（再掲）

8 福祉教育・福祉啓発、企業の地域貢献の推進

市社協補助金 67 千円 [0 円]

(1) 福祉教育・福祉啓発のための相談機能や PR 活動の充実

コロナ禍では外部講師の構内立ち入りを控えている学校が多く、福祉教育の開催が困難な状況が続いていましたが、今年度からは学校からの相談も少しずつ増えてきました。ボッチャ体験や視覚障害者誘導体験と視覚障害当事者による講演等、体験型の福祉教育を実施することができました。

	令和4年度	令和3年度
対応件数	3 件	2 件
内 訳	小学校 3 校	小学校 2 校

(2) はあと de ボランティア

中高生を対象としたボランティア活動のきっかけ作りとなる体験講座「はあと de ボランティア」を区役所、多文化・青少年交流プラザ、都筑区青少年指導員連絡協議会と共催で実施しました。

V 区社協の経営・運営推進

1 理事会・評議員会・監事会の開催

地域福祉の推進を目的とする組織として、地域に根ざした活動を展開するため、会員相互の連携による組織運営を行いました。

(1) 理事会 (3回)

日 時	参加人数	主な議題等	結果
6月10日(金) 13:30～14:30	理事8名 監事2名	1 理事候補者の推薦について 2 評議員選任候補者の推薦について 3 評議員選任・解任委員会委員の選任について 4 評議員選任・解任委員会の開催について 5 令和3年度事業報告及び一般会計収入支出決算(案)について 6 令和4年度年末たすけあい募金の配分について 7 定時評議員会の招集について 8 経理規程の改正について	承認
11月11日(金) 13:30～14:30	理事10名 監事2名	1 新規会員の承認について 2 顕彰候補者について 3 令和4年度 年末たすけあい募金事業助成配分について 4 評議員選任候補者の推薦について 5 評議員選任解任委員会の開催について 6 令和4年度 一般会計収入支出予算の補正について 7 評議員会の招集について	承認
3月17日(金) 13:30～14:40	理事10名 監事3名	1 理事候補者の選定について 2 保有個人データの開示等の請求に関する規程の改正について 3 令和4年度収支予算の補正について 4 令和5年度事業計画及び収入支出予算(案)について 5 役員等賠償責任保険の契約締結について 6 評議員会の招集について	承認

(2) 評議員会 (3回)

日 時	参加人数	主な議題等	結果
6月27日(月) 13:30～14:30 【定時評議員会】	評議員17名 監事 2名 会長 1名	1 理事の選任について 2 令和3年度事業報告及び一般会計収入支出決算(案)について 3 経理規程の改正について	承認
11月22日(火) 13:30～14:20	評議員17名 監事 2名 会長 1名	1 令和4年度一般会計収入支出予算の補正について	承認
3月27日(月) 13:30～14:30	評議員14名 監事 2名 会長 1名	1 理事の選任について 2 令和4年度収入支出予算の補正について 3 令和5年度事業計画及び収入支出予算(案)について	承認

(3) 監事会

日 時	場 所	参加 人数	内 容	結果
5月27日(金) 14:00～15:00	かけはし都筑 対面朗読室	監事 2名	・令和3年度の業務執行状況、経理執行 状況及び財産状況の監査	承認

2 分科会及び委員会の開催

本会会員にて組織する分科会及び委員会を開催し、会員間の情報交換、関連する課題の協議、事業推進等の協議を行いました。

(1) 分科会

① 民生委員児童委員分科会 …区民児協会議終了後開催

日にち	主な議題	結果
7月14日(木)	・区社協賛助会員へのご協力をお願い ・令和4年度共同募金(街頭募金、バッジ募金)へのご協力をお願い ・移動情報センターについて	承認
9月14日(水)	・生活福祉資金 償還残額のお知らせ ・令和4年度 共同募金街頭募金活動について ・令和4年度 都筑区社会福祉協議会「食料品・日用品お渡し会」(案)について	承認
10月14日(金)	・令和4年度 共同募金・街頭募金運動へのご協力御礼と報告 ・全社協 生活福祉資金借受世帯支援記録票整備状況報告について ・民生委員一斉改選に伴う「生活福祉資金借受世帯の引き継ぎの実施にあたって」 ・都筑区社協 食のお渡し会 チラシ配布 ・よこはまの地区社協 全体会(2021-2022)DVDについて	承認
11月14日(月)	・生活福祉資金 民生委員活動費の交付について ・～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタの開催について	承認
12月14日(水)	・都筑区社会福祉協議会 理事、評議員の推薦について ・生活福祉資金関係について ①新任民生委員研修の開催について ②償還残高のお知らせについて	承認
2月14日(火)	・令和4年度 食のお渡し会について(報告) ・都筑区移動情報センター通信(VOL.8)(配布) ・共同募金会都筑区支会の開催予定について(ご案内)	承認
3月14日(火)	・本会理事および各種委員会委員の候補者推薦について ・令和4年度 つづき あいフォーラムについて(報告) ・都筑区社協だより しゅんらん(62号)配布	承認

② 地区社会福祉協議会分科会

日 時	参加人数	主な議題	結果
7 月 12 日 (火) 10 : 00～12 : 10 (合同会議)	20 名	・都筑区社協広報紙「しゅんらん」への協力について ・令和 4 年度 都筑区社会福祉大会 顕彰について ・令和 4 ンエンド 地区社協研修検討委員について ・各種補助金・助成金の申請について ・地区社協活動紹介（渋沢地区・東山田地区）	承認
9 月 13 日 (火) 10 : 00～12 : 00 (合同会議)	22 名	・よこはま北部ユースプラザ 事業紹介 ・令和 4 年度 地区社協合同情報交換会について（報告） ・「SNS を活用した広報活動について」研修 ・地区社協活動紹介（山田地区・中川地区）	承認
3 月 14 日 (火) 10 : 00～12 : 00 (合同会議)	27 名	・本会役員および各種委員会委員の推薦について ・令和 5 年度 各種補助金・助成金（予定）について ・令和 5 年度 地区社協分科会開催予定について ・令和 5 年度 賛助会員募集について	承認

③ 自治会町内会分科会

日にち	参加人数	主な議題	結果
4 月 21 日 (木)	15 名	・令和 4 年度つづき あい基金助成金の申請について ・広報紙「しゅんらん」59 号の回覧について	承認
5 月 20 日 (金)		・令和 4 年度日本赤十字社募金（会費）への協力について ・都筑区社協賛助会員募集案内の周知について	承認
6 月 21 日 (火)		・令和 4 年度都筑区更生保護協会賛助金の募集	承認
7 月 21 日 (木)		・令和 4 年度共同募金運動用必要資材の調査及び共同募金運動のご説明 ・「共同募金都筑区だより」の配布について	承認
9 月 21 日 (水)		・共同募金運動への協力依頼について	承認
10 月 21 日 (金)		・都筑区社会福祉協議会「食のお渡し会」の実施について	承認
11 月 21 日 (月)		・都筑保護司会広報紙「更生保護つづき」について	承認
2 月 21 日 (火)		・令和 5 年度共同募金運動への協力依頼について	承認
3 月 20 日 (月)		・令和 5 年度日赤会費募集について ・令和 5 年度日赤会費募集運動用必要資材調査について	承認

※開催場所：都筑区役所 大会議室

④ ボランティア・市民活動等分科会

日 時	参加人数	主な議題	結果
5月18日（水） 13：30～15：00	3名	・令和4年度事業計画について ・ボランティアサロン（第1回）企画	承認
7月20日（水） 13：30～15：00	8名	・ボランティア交流会（第1回）企画	承認
9月21日（水） 15：30～16：20	7名	・ボランティア交流会（第1回）振返り ・ボランティアサロン（第1回）振返り	承認
1月18日（水） 15：30～16：10	5名	・ボランティア交流会（第2回）振返り ・ボランティアサロン（第2回）企画	承認



⑤ 児童福祉・高齢福祉分科会

日にち	参加人数	主な議題	結果
3月13日（月） 15：00～16：30	7名	・区社協からのお知らせ（情報共有） ・施設間の意見交換 【テーマ】新型コロナの感染対策が緩和されるにあたっての各施設の対応について ・次期役員の候補者推薦について	共有承認

⑥ 障害福祉分科会

日にち	参加人数	主な議題	結果
10月19日（水） 14：30～15：30	15名	・障害者週間キャンペーン パネル展の参加について ・評議員候補者の推薦について	共有承認

(2) 委員会

① ボランティアセンター運営委員会

再掲Ⅲ-1-(1) (6 ページ) 参照

② 都筑区ふれあい助成金配分委員会

日 時	参加 人数	主な議題	結果
6 月 3 日(金) 9 : 55～11 : 30	9 名	・ 令和 3 年度つづきふれあい助成金配分結果報告 ・ 令和 4 年度都筑区ふれあい助成金の審査・決定	承認
2 月 28 日(火) 13 : 30～15 : 00	11 名	・ 令和 4 年度都筑区ふれあい助成金 実施状況 ・ 令和 5 年度都筑区ふれあい助成金 実施方針	承認

配分先は資料 2 (35 ページ) 参照

ウ 顕彰委員会

日 時	参加 人数	主な議題	結果
10 月 20 日(木) 14 : 00～15 : 00	7 名	・ 顕彰候補者の審議	承認

3 会員の加入促進

会員種別	令和 4 年度末	令和 3 年度末	増減
第 1 種 公私社会福祉事業施設	40 団体	39 団体	1
第 2 種 民生委員児童委員	170 名	170 名	0
第 3 種 地区社会福祉協議会	15 団体	15 団体	0
第 4 種 自治会町内会	15 団体	15 団体	0
第 5 種 障害者団体等当事者団体	42 団体	42 団体	0
第 6 種 ボランティア団体・市民活動団体等	12 団体	14 団体	△ 2
第 7 種 その他社会福祉に関係のある団体	28 団体	28 団体	0
第 8 種 社会福祉関係行政機関	8 名	8 名	0
第 9 種 学識経験者	2 名	2 名	0
合計	152 団体・180 名	153 団体・180 名	△ 1

4 賛助会員の募集

社協活動の理解促進及び自主財源確保のため、各地区社協と協働し財政面で活動を支える賛助会員の募集を6～12月に行い、実績額の50%は地区社協活動費として地区社協に還元しました。また、実績の1%を事務費として還元しています。

会費年額 1口あたり個人1,000円、法人・団体5,000円

○実績総額 (単位:円)

	令和4年度	令和3年度
会費総額	5,953,656	5,583,698

○各地区別実績内訳

	金額 (単位:円)	地区名	金額 (単位:円)
東山田地区	839,000	佐江戸加賀原地区	287,000
山田地区	241,000	川和地区	948,613
中川地区	307,000	荏田南地区	401,100
勝田茅ヶ崎地区	563,000	渋沢地区	178,000
かちだ地区	372,200	茅ヶ崎南MGCRS地区	273,843
新栄早渕地区	207,000	ふれあいの丘地区	336,400
都田地区	484,500	その他(区外)	11,000
池辺地区	504,000	合 計	5,953,656

5 コンプライアンス推進の取組

各種法令等に基づき、適正かつ効率的な事務処理を行うとともに、安定した財源確保に努めました。また、情報公開、個人情報保護、苦情解決等制度運用を通じて透明性の高い法人運営に努めました。

(1) 適正な法人運営

各種規程の整備や情報の公開等、適正な対応を行い、法改正の主旨・目的に沿った法人運営に努めました。

① 経営組織のガバナンス強化

- ・定款や各種規程に基づき法人の運営を行いました。なお、評議員の選任・解任については、評議員選任・解任委員会を開設し選任しました。

② 事業運営の透明性の向上

- ・財務諸表、現況報告書、定款等を窓口やインターネット上で公表しました。

③ 財務規律の強化

- ・役員・評議員・各種委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する規程をインターネット等で公表しました。
- ・社会福祉充実残額について基準以下の額となったことから、社会福祉充実計画の作成及び実施は行いませんでした。

④ ワークライフバランスの推進

- ・働き方改革を踏まえ、日々、業務の見直しを進めながら事業を展開しました。あわせて有給休暇取得義務化を踏まえ、職員の休暇取得を促進しました。

（２）感染症予防の徹底

コロナウイルス感染拡大に伴い、手指消毒や飛沫防止策の実施など各種対策を行ないました。

（３）経理処理

会計システムやエレクトリックバンキング（銀行振込システム）を活用し、適正で安全な経理処理に努めました。また、現金管理については、規程に基づく管理を行いました。

（４）各種マニュアル等の整備と運用

各種規程や規則に基づく法人運営を行うとともに、各種事務マニュアル等を整備・更新して業務を行いました。規則、要綱の改正を随時行い、最新データに更新しました。

（５）苦情・事故対応

① 苦情解決等の取組

ご意見箱の設置や苦情受付窓口を館内へ掲示するなどの取組を進め、市民や利用者が意見や要望を出しやすい環境づくりに努めました。

② 事件・事故情報、ヒヤリハット等の共有

発生した事件・事故、事務処理ミスについては、全体での定期的な共有や原因分析・対策を行い、再発防止に努めました。

	件数
ご意見箱	0 件
苦情受付	0 件
事件・事故	0 件

6 地域福祉推進のための職員の育成

地域福祉の推進を担う社協職員の資質の向上を目指し、市社協人材育成計画及び人事考課制度に基づき、計画的な職員育成を行いました。また、職場内においては、全職員が地域支援を進めるための強化を図るために必要な知識、技術の研鑽に努めました。

（１）事業促進・相互学習のためのミーティングの開催

業務別打ち合わせ、内部研修会等を通じ、各職員の担当業務についてスキルアップを図るとともに、事務局会議（毎月１回）や地域支援検討、ケースカンファレンスなどの機会を用いて、個別業務と地域支援を関連させ展開できるよう取り組みました。

（２）関係機関との共催研修の開催

区役所や関係機関と地域支援を進めるためスキル向上を目的とした研修を実施しました。

○コーディネーター研修

開催日	テーマ	スーパーバイザー	参加者数
12 月 12 日（水） 15：00～17：00	コーディネーターの取組 事例検討	わかたけ富岡 生活相談員 原島 隆行氏	19 名

○職員向け研修

開催日時	テーマ	講師	参加者数
7月8日（金） 10：00～12：00	地域アセスメント研修	駒澤大学文学部社会学科 社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏	19 名

（３）外部研修への参加

市社協や関係機関等が主催する研修会に参加し、職員の資質向上に努めました。

VI. その他の事業

1 共同募金・年末たすけあい募金への協力

社会福祉団体の活動、住民参加型の地域たすけあい活動への援助等を目的に、自治会町内会や民生委員児童委員等にご協力いただき、戸別募金や街頭募金などの募金活動を行いました。

（＊県共同募金会横浜市都筑区支会に協力）

2 生活福祉資金の貸付・援護事業

県社協受託費 6,275 千円 [1,200 千円]

低所得世帯や障害者世帯などの要援護世帯、及び離職者に対し、経済的自立と生活意欲の向上を図るため資金貸付を行なうとともに、必要な相談支援を行いました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「生活福祉資金特例貸付」の受付をしていましたが、令和4年9月末を持って終了となり、以降は償還や猶予の問合せなどに引き続き対応をしました。

（１）生活福祉資金の貸付

生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、一時的な資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

① 貸付相談件数 3,683件（令和3年度：11,853件）

（単位：数）

資 金 名	件数	資 金 名	件数
生活福祉資金	1, 861	緊急小口資金（特例） ・ 総合支援資金（特例）	514
緊急小口資金	675		
総合支援資金	556	※緊急小口資金（特例）、総合支援資金（特例） は令和４年９月末で受付終了となりました。	
臨時特例つなぎ資金	0		
不動産担保型生活資金（要保護含む）	73		
生活福祉資金以外の制度	4		

② 生活福祉資金特例貸付受付件数 181件

資 金 名	件数
緊急小口資金	102
総合支援資金	79

※緊急小口資金（特例）、総合支援資金（特例）は令和4年9月末までの受付

③ 貸付決定件数：44件、貸付額：14,478,000円（特例貸付を除く）

（令和3年度：47件、貸付額：18,730,000円（特例貸付を除く）

資 金 名	決定件数	貸付決定額（円）
生活福祉資金（福祉費）	1	78,000
生活福祉資金（教育支援費） ※辞退者含む	25	9,110,000
生活福祉資金（就学支度費） ※辞退者含む	17	5,190,000
緊急小口資金	1	100,000
不動産担保型生活資金（要保護世帯向け含む）	0	0
総合支援資金（生活支援費）	0	0
総合支援資金（住宅入居費）	0	0
総合支援資金（一時生活再建費）	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合 計	47	14,478,000

（2）災害見舞金の給付

- ・火災により、住家に被害を受けた罹災世帯に見舞金を給付しました。
件数 1件 見舞金 15,000円

（3）低所得者法外援護費事業

- 区役所と連携して行旅病人等に対し緊急時等における交通費を支給しました。
・1,020円

（4）年末たすけあい配分金（再掲）

3 各種福祉関係団体事務局の運営

団 体 名	趣 旨	主な活動内容
日本赤十字社 神奈川県支部横浜市 地区本部都筑区地区 委員会	博愛と人道の精神を基 本に、募金活動(会費募 集)や諸事業を実施	(1) 赤十字募金募集 総額：6,918,621 円 募集期間 6～7月 (自治会町内会へ依頼) (2) 諸事業 ・小災害見舞金品の交付 件数 5件 ・区民まつり等におけるPR活動 内容:チラシ等の配布
神奈川県共同募金会 横浜市都筑区支会	共同募金運動を通じ て、幸せを分かち合う 心を基盤に福祉の向上 を推進	(1) 赤い羽根共同募金 募金額：8,319,975 円 募集期間 10月～12月 戸別募金/自治会町内会を通じ協力を依頼 街頭募金/19回 (障害者施設、ボランティ アグループ等) 法人募金/18法人 職域募金/10法人・企業 学校募金/区内小中学校2校 イベント募金・その他/50か所 (2) 年末たすけあい募金 募金額：7,986,363 円 募集期間 12月 戸別募金/自治会町内会を通じ協力を依頼 街頭募金/2件 法人募金/1法人 その他募金/3か所 募金額合計(1)+(2)：16,306,338 円
都筑区 更生保護協会	犯罪の予防・更生保護 事業の充実発展のため、賛助金の募集 更生保護思想の普及・ 社明運動の広報啓発	(1) 更生保護団体の諸活動への支援 (2) 賛助金 募金額：882,240 円 募集期間 7月～8月 (自治会町内会へ依頼) (3) 啓発講演会、各地域でのミニ集会、街頭宣 伝活動等の実施 (都筑区社会を明るくする 運動実行委員会)
都筑保護司会	犯罪の防止と、罪を犯 してしまった人の更生 の手助けをするなどの 活動	(1) 研修会開催、保護司間の情報交換 (2) 薬物乱用防止啓発活動への参加協力 (3) 対象者支援活動 (4) 現員数/27名
都筑区 更生保護女性会	同上の趣旨で、女性と しての立場で活動	(1) 宣伝・啓発・推進活動 (2) 施設入所者への寄付 (3) 会員数/169名
都筑区 戦没者遺族会	会員相互の福祉の増 進、公德心の高揚、 世界平和への貢献	(1) 理事会の開催/全6回 (2) 戦没者追悼式の開催 ※コロナウイルス感染拡大防止により中止 (3) 全国・市の慰霊事業等への参加 (4) 会員数/155名

参 考 資 料

資料 1 都筑区善意銀行寄託金品配分状況

資料 2 都筑区ふれあい助成金配分団体

資料 3 年末たすけあい募金事業助成配分団体

資料 4 地区社協運営費及び地区社協活動費助成一覧

資料 5 つづき あい基金配分団体

令和４年度 都筑区善意銀行寄託金品 配分状況

資料1

(1) 金品

ア 寄付金内訳(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(敬称略)

NO	年月日	預託者・団体名	金額(円)	希望先
1	4月20日	匿名	42,574	社会福祉一般
2	6月9日	都筑区チャリティゴルフ大会実行委員会	152,985	社会福祉一般
3	8月5日	株式会社 イトーヨーカ堂ららぽーと横浜支部労働組合	26,755	社会福祉一般
4	10月28日	匿名	30,000	社会福祉一般
5	11月18日	株式会社 アシスト	20,500	社会福祉一般
6	12月7日	東方婦人会	10,000	社会福祉一般
7	12月7日	横浜労福協北部支部	50,000	社会福祉一般
8	12月12日	匿名	5,000	社会福祉一般
9	12月23日	ヤマザキ製パン従業員組合 神奈川支部	684,415	社会福祉一般
10	12月26日	京セラ株式会社 横浜事業所 社員一同	420,893	社会福祉一般
11	12月26日	京セラ株式会社 横浜事業所	50,000	社会福祉一般
12	12月26日	京セラ労働組合 横浜支部	20,000	社会福祉一般
13	12月27日	株式会社 イトーヨーカ堂ららぽーと横浜支部労働組合	18,389	社会福祉一般
14	12月28日	福)イクソス会 つづきルーテル保育園	70,822	社会福祉一般
15	1月10日	都筑区社交ダンス愛好会	10,000	社会福祉一般
16	2月13日	横浜市大熊保育園	5,852	児童福祉
17	3月1日	上村 正吉	200,000	社会福祉一般
18	3月27日	鎚木酒店	1,683	社会福祉一般
19	3月31日	匿名	100,000	社会福祉一般
合 計			1,919,868	

イ 配分

第1回 配分金

NO	寄付先・団体名	金額(円)	助成区分
1	横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブ	50,000	【行事・催事】
2	ゆうあい昼食会	30,000	【団体活動費】
3	学ぼう会	30,000	
4	シンフォニック サロンの会	30,000	
5	つづき言語会	30,000	
6	認知症カフェ「コツコツ」	30,000	
7	ボランティアはまゆう	30,000	
8	都筑区手をつなぐ育成会	30,000	
9	あおぞら会	30,000	
10	くるみクラブ	30,000	
11	都筑区障害児者親の会	30,000	
12	佳田南地区ほほえみ交流カフェ運営グループ	30,000	
13	都筑区災害ボランティアネットワーク	30,000	
14	NPO法人栄光会	30,000	
15	くじらスイミングクラブ	30,000	
16	とまとのおうち	30,000	
17	特定非営利活動法人都筑むつみ会	30,000	
18	とまとのおうち 親の会	23,000	
20	都筑区老人クラブ連合会	50,000	【区域連絡会】
21	都筑区認知症サポート連絡会	50,000	
22	都筑区障害者事業所ネットワーク てつなぎつづき	50,000	
23	都筑区認知症カフェ連絡会	50,000	
24	都筑区障害児・者福祉団体連絡協議会	50,000	
26	都筑区民生委員児童委員協議会	100,000	【その他】
合 計		903,000	

第2回配分金

1	就労継続支援B型都筑ハーベスト	193,000	【備品購入費】
2	カブカブ川和	159,000	
3	生活ホームエルファール	59,000	
合 計		411,000	

1	都筑区社会福祉協議会 ふれあい助成金事業	415,000	【その他】
2	都筑区社会福祉協議会 共同募金配分事業年末たすけあい募金配分事業へ振替	100,000	
3	都筑区社会福祉協議会 つづき あい基金事業	82,500	
合 計		597,500	

(2) 物品

ア 寄付(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

NO	年月日	寄付者・団体	寄付物品	希望先	配分先
1	4月16日	匿名	米 7キロ	社会福祉一般	区社協
2	6月23日	齋藤 美津子	もち米 30キロ	社会福祉一般	ふれんど♡らぶ、ロバの子ネットワーク(こども食堂)、区社協
3	7月5日	匿名	生理用品、タオル(未使用)	社会福祉一般	(生理用品)区社協 (タオル)ふれんど♡らぶ、キッズフォレ、どろんここぶた、
4	7月14日	(株)悠輝ドキわくら ンド北山田店	お菓子(段ボール3箱)	社会福祉一般	学ぼう会、インフィニティ、中川地区子ども会
5	7月29日	匿名	お米	社会福祉一般	区社協(個別支援に利用)
6	9月2日	星 樹里亜	キャラメルビスケット10箱	社会福祉一般	子ども食堂(アーモンドコミュニティネットワーク、キッズ フォレ、おはよう食堂、どろんここぶた、ロバの子ネット ワーク、チャコ村、) 児童委員民生協議会 学習支援団体(学ぼう会、インフィニティ) 区社協
7	9月5日	洲脇 慶太郎	紙おむつ、尿取りパット、エ ンシュア、ムース食等	社会福祉一般	区社協(個別支援に利用)
8	9月12日	匿名	タオル、鮭フレーク、ふりか け、調味料、ココア	社会福祉一般	タオル:子ども食堂(アーモンドコミュニティネットワーク、 キッズフォレ、おはよう食堂、どろんここぶた、) 食品:区社協
9	9月14日	(株)悠輝ドキわくら ンド北山田店	お菓子(段ボール2箱)	社会福祉一般	学習支援団体(インフィニティ、学ぼう会)、子ども食堂 (ふれんどらぶ)
10	9月21日	匿名	入浴剤2箱	社会福祉一般	区社協
11	9月29日	田中 耕太郎	生理用品	社会福祉一般	区社協(個別支援、食のお渡し会に利用)
12	10月3日	匿名	洗剤2本	社会福祉一般	区社協(食のお渡し会に利用)
13	10月14日	加賀原二丁目自治 会	アルファ米(2箱)	社会福祉一般	区社協(個別支援、食のお渡し会に利用)
14	10月26日	匿名	菓子(チョコパイ9個入り× 4袋)	社会福祉一般	区社協(食のお渡し会で利用)
15	10月28日	(株)悠輝ドキわくら ンド北山田店	お菓子(段ボール2箱)	社会福祉一般	インフィニティ、学ぼう会、区社協
16	10月28日	村田 幸夫	もち米 30キロ	社会福祉一般	子ども食堂(アーモンドコミュニティネットワーク、キッズ フォレ、おはよう食堂、どろんここぶた、ロバの子ネット ワーク)
17	11月4日	村田 幸夫	米 5キロ	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)

18	11月9日	齋藤 隆夫	インスタント麺(5袋×12個)	社会福祉一般	区社協(食のお渡し会で利用)
19	11月10日	匿名	麺類、缶詰類	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
20	11月4日	イケア・ジャパン株式会社 IKEA港北	お菓子(9種類×50セット)	児童福祉	区社協(食のお渡し会で利用)
21	11月15日	公益社団法人 緑法人会	お米 2キロ×40個	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
22	11月28日	(株)悠輝 ドキわくら ンド北山田店	お菓子	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
23	12月12日	長坂町内会	お菓子(段ボール2箱 せんべい)	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
24	12月26日	(株)悠輝 ドキわくら ンド北山田店	お菓子	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
25	1月23日	(株)悠輝 ドキわくら ンド北山田店	お菓子	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
26	1月24日	早川 弘子	ハンドメイド入学セット(手提げ、シューズ入れ、体操着袋、コップ袋の4点セット) 40点	社会福祉一般	障害児、子育て世帯へ配布(主任児童委員を通じて) あおぞら会
27	2月16日	芳尾 初美	薄型パンツ4パック、防水シート1パック	社会福祉一般	善意銀行配分案内メールにてご案内 3団体に配分(加賀原地域ケアプラザ、あおぞら会、都筑ハーベスト)
28	2月20日	(株)悠輝 ドキわくら ンド北山田店	お菓子	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
29	2月27日	横浜農業協同組合 植木せり市運営委員会 会長 青木治	お米(5キロ×74袋)	社会福祉一般	区内子ども食堂、食支援相談世帯に個別配布
30	2月27日	ヴィスタシア港北の丘管理組合	マジックライス(炊き出し用)50食×12箱	社会福祉一般	東山田地区、北山田地区、都田地区、ふれあいの丘、Dフレンドリー、おはよう食堂、都田小、区社協
31	3月7日	匿名	食品(そば、めんつゆ)	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)
32	3月20日	匿名	介護用おむつ、尿取りパッド	社会福祉一般	善意銀行配分案内メールにてご案内 (NPO法人ウエルウエルネット、ゆうらいふ横浜訪問介護事業所、生活ホームエルファール、都筑区子ども会育成連絡協議会、ワーク中川、池辺地区民生委員、権利擁護事業利用者)
33	3月24日	匿名	介護用おむつ、尿取りパッド	社会福祉一般	善意銀行配分案内メールにてご案内 (NPO法人ウエルウエルネット、ゆうらいふ横浜訪問介護事業所、生活ホームエルファール、都筑区子ども会育成連絡協議会、ワーク中川、池辺地区民生委員、権利擁護事業利用者)
34	3月27日	(株)悠輝 ドキわくら ンド北山田店	お菓子	社会福祉一般	区社協(窓口相談者へ配布)

令和4年度 都筑区ふれあい助成金 配分団体

NO	助成 区分	団体名	事業名	助成額
1	A①	チャコ村○△□ ～みんなでつくるみんなの居場所～	集いの場	300,000
2	A①	憩いの場	憩いの場	180,000
3	A①	山田地区 ふれあい昼食会	山田地区ふれあい昼食会	120,000
4	A①	なかなか会	フリー参加の茶話会	70,000
5	A①	港北ガーデンヒルズシルバーサロン	サロン・茶話会	120,000
6	A①	特定非営利活動法人 みんなの家	みんなの家余暇支援サロン	120,000
7	A①	傾聴ボランティアグループYou&Me	傾聴サロン・茶話会	120,000
8	A①	学ぼう会	若者支援（学習支援）	120,000
9	A①	認知予防カフェワンステップサークル	認知予防カフェ	50,000
10	A①	陽だまり会	健康体操	120,000
11	A①	ボランティアふきのとう	ふれあい会食会	80,000
12	A①	さわやかカフェハーモニー	認知症カフェ	80,000
13	A①	2丁目スマイルカフェ	2丁目スマイルカフェ	80,000
14	A①	ぱいりんぐろーぷ	学習支援	80,000
15	A①	ふれあい大柵認知症予防カフェ運営委員会	認知症予防の茶話会	80,000
16	A①	子育てカフェ りんご	子育て支援	80,000
17	A①	大正琴と歌唱教室	大正琴と歌唱教室	55,000
18	A①	ふれあい昼食会	一人暮らし高齢者の昼食会	80,000
19	A①	NPO法人H&K ハッピーラボ	発達お悩み相談会	80,000
20	A①	ファミリーカフェ	居場所作り	80,000
21	A①	シンフォニックサロンの会	介護予防サロン	80,000
22	A①	ネットカフェかがはら	多世代交流を目的としたカフェ	80,000
23	A①	リスの会	リハビリ教室	80,000
24	A①	荏田南地区ほほえみ交流カフェ運営グループ	認知症&予防カフェ	80,000
25	A①	かあさんぽ	親子の集いの広場	80,000
26	A①	荏田南どんぐりカフェ	認知症（備え）カフェ	80,000
27	A①	元気アップ応援クラブ	歌って体幹エクササイズ認知症予防	80,000
28	A①	港北ファミリーハイツシニア福祉委員会	シニア対象の集いの場	80,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	助成額
29	A①	おしゃべりサロン	高齢者サロン	80,000
30	A①	ふれあいの丘地区民生児童委員あいテラス	お楽しみ会・昼食会	80,000
31	A①	ふれんど♡らぶ	おはよう食堂	30,000
32	A①	認知症カフェ「コツコツ」	認知症予防カフェ運営	80,000
33	A①	三丁目カフェ	三丁目カフェ	30,000
34	A①	今日も元気だ！ふれあい会	なかなかサロンinフォレスト パーク	50,000
35	A①	渋沢ふれあい会	誰でも参加できる居場所作り	50,000
36	A①	夕焼け空の歌の会	音楽とお話しの会	50,000
A①区分36件 計				3,185,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	A②	おたがいさま会	ごみ出し・お買い物支援	160,000
2	A②	グッドネイバーズ倶楽部	日常生活支援活動	80,000
3	A②	ふれあいの丘ほっとボランティアの会	生活支援活動	80,000
A②区分3件 計				320,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	A③	特定非営利活動法人 ロクマル	配食（お手紙弁当）	400,000
2	A③	ゆうあい昼食会	食事づくり（お弁当）	80,000
3	A③	ボランティア はまゆう	高齢者配食サービス	80,000
A③区分3件 計				560,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	B①	くるみクラブ	余暇活動（障がい者スポーツ）	400,000
2	B①	くじらスイミングクラブ	障害児・者の水泳訓練と余暇 活動	80,000
3	B①	つづき言語会	リハビリ目的等の集い	100,000
4	B①	NPO法人スペースシップ2009	身体と心を動かす余暇活動	100,000
5	B①	それいゆ	障害児・者の理容サロンと交流 サロンサポート事業	80,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	助成額
6	B①	キラキラクラブ	歌唱レッスン	80,000
7	B①	ペンギンクラブ	テニス・余暇活動・勉強会	80,000
8	B①	きりんの親子	音楽療法	80,000
9	B①	みんと	フリースペース	65,000
10	B①	たんぽぽ	肢体不自由児者の機能回復と研修	80,000
11	B①	なないろパーカッションアンサンブル	障害児者のパーカッションアンサンブル	60,000
12	B①	WAKU2ミュージカルカンパニー	歌・ダンス・演技などワークショップ	80,000
13	B①	HPKA(ハピカ) 北部ピアの会	当事者の交流会	80,000
14	B①	聴覚障がい者を守る会	聴覚障がい者の学習会	40,000
			B①区分14件 計	1,405,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	B②	バナナのおうち	秋の遠足	22,000
2	B②	みどリエアーシップ	アウトドア活動	50,000
3	B②	みどりの会	ホースセラピー	50,000
4	B②	とまとのおうち 親の会	新江ノ島水族館と江の島散策	45,000
5	B②	エルフィン神奈川	宿泊、日帰りハイク	50,000
			B②区分5件 計	217,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	B③	つづき音声訳グループ あかり	視覚障がい者支援(音声訳)	50,000
2	B③	手話ひよこクラブ	手話の勉強会	50,000
3	B③	手話たけのこクラブ	手話の勉強会	50,000
			B③区分3件 計	150,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	C	中川西小おやじの会	地域住民交流	40,000
2	C	センター北キッズファーム管理運営委員会	センター北キッズファーム「畑の日」	40,000
3	C	グループすこやか	障害児を含む支援	40,000
4	C	えだみなみの歌声	地域住民交流	40,000
5	C	港北センタープレイス 学援隊	学童の通学見守り	40,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	助成額
6	C	nicoっと	障害児ママヨガ	40,000
7	C	和ぎ	就労している障害者のサロ ン・ボッチャ交流	40,000
8	C	すずらん会	学習会	30,000
9	C	クリ活! Creative activities for Diversity	「第7回未来へつなぐ つづき ゆめ駅伝」パラスポーツ体験会	30,000
10	C	おはなしネットワーク かたらんらん	絵本作家の講演会	20,000
11	C	チャルラス都筑	外国につながる親子と日本人親 子との交流	30,000
12	C	つづきっこまつり運営委員会	つづきっこまつり	30,000
13	C	TAMおやこのひろば	親子向け造形ワークショップ	30,000
14	C	都筑区老人クラブ連合会	グラウンド・ゴルフ大会	30,000
15	C	都筑区災害ボランティアネットワーク	災害ボランティアセンター運営 や防災セミナーの企画運営等	30,000
16	C	つづきジャズ協会	高齢者・障がい者のための屋外 コンサート	30,000
17	C	つづき国際交流カフェ実行委員会	国際交流	30,000
18	C	特定非営利活動法人 アスタ荏田	子どもパン教室	30,000
19	C	都筑区子ども会育成連絡協議会	交流イベント	30,000
20	C	ママノテ	未就学障害児の母親たちの茶話会	30,000
C 区分20件 計				660,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	D	南山田町内会吹矢クラブ	スポーツ吹矢	10,000
2	D	バランス講座	健康体操・認知症予防体操	10,000
3	D	ふれあいウォーク	ふれあいウォーキング	10,000
4	D	飛び出せ園バス隊	人形劇	10,000
D 区分 4 件 計				40,000

NO	助成 区分	団体名	事業名	実助成額
1	A①	ここまる	多世代交流サロン	40,000
2	B①	つづき 中学バスケット同好会	障害児のスポーツ活動	40,000
立上げ区分 2 件 計				80,000

合計	90団体	6,617,000
----	------	------------------

(1) 見守り活動助成（地区社協配分）

No	種別	団体名	事業内容	助成額
1	地区社会福祉協議会	東山田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	140,000
2	地区社会福祉協議会	山田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	120,000
3	地区社会福祉協議会	中川地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、物品購入	200,000
4	地区社会福祉協議会	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、物品購入	150,000
5	地区社会福祉協議会	かちだ地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、物品購入、人材育成	210,000
6	地区社会福祉協議会	新栄早渕地区社会福祉協議会	物品購入、人材育成	80,000
7	地区社会福祉協議会	都田地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	50,000
8	地区社会福祉協議会	池辺地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	115,000
9	地区社会福祉協議会	佐江戸加賀原地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
10	地区社会福祉協議会	川和地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
11	地区社会福祉協議会	荏田南地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	75,000
12	地区社会福祉協議会	渋沢地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	75,000
13	地区社会福祉協議会	茅ヶ崎南MGCRS地区社会福祉協議会	見守り訪問活動	150,000
14	地区社会福祉協議会	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	見守り訪問活動、人材育成	160,000
合計				1,845,000

(2) 事業助成（団体配分）

No	種別	団体名	事業名	助成額
1	福祉活動団体 (地域団体)	きたやまた落語倶楽部	北山田寄席	50,000
2	福祉活動団体 (地域団体)	都筑ヶ丘第2自治会イベントサークル	都筑ヶ丘第2自治会2023年餅つき大会	50,000
3	福祉活動団体 (地域団体)	北山田健康体操	忘年会	20,000
4	福祉活動団体 (地域団体)	都筑区子ども会育成連絡協議会	こども展	50,000
5	福祉活動団体 (障害作業所)	特定非営利活動法人アスタ荏田	ワークショップと交流会	50,000
6	福祉活動団体 (障害作業所)	都筑ハーベスト	味噌づくり交流会	50,000
7	福祉活動団体 (地域活動支援センター)	特定非営利活動法人 都筑むつみ会	お楽しみ会	20,000
8	ボランティア	憩いの場	大人のクリスマス会	50,000
9	ボランティア	ふきのとう	クリスマス会	30,000
10	障害	都筑区聴覚障害者協会	講演会	20,000
11	障害	あおぞら会	地域交流と親睦のための レクリエーション	50,000
12	障害	くるみクラブ	お楽しみ会	50,000
13	障害	それいゆ	新年会	20,000
14	障害	バナナのおうち	クリスマス会	20,000
			合計	530,000

令和4年度 地区社協運営費及び地区社協活動費助成一覧

資料4

(単位:円)

No	団体名	地区社協運営費 (市社協財源)	地区社協活動費 (世帯割)	地区社協活動費 (事業費割)
1	東山田地区社会福祉協議会	50,000	110,000	200,000
2	山田地区社会福祉協議会	50,000	170,000	160,000
3	中川地区社会福祉協議会	50,000	170,000	250,000
4	勝田茅ヶ崎地区社会福祉協議会	50,000	170,000	210,000
5	かちだ地区社会福祉協議会	50,000	130,000	300,000
6	新栄早瀬地区社会福祉協議会	50,000	90,000	160,000
7	都田地区社会福祉協議会	50,000	150,000	110,000
8	池辺地区社会福祉協議会	50,000	110,000	180,000
9	佐江戸加賀原地区社会福祉協議会	50,000	110,000	240,000
10	川和地区社会福祉協議会	50,000	110,000	260,000
11	荏田南地区社会福祉協議会	50,000	90,000	145,000
12	渋沢地区社会福祉協議会	50,000	90,000	125,000
13	茅ヶ崎南MGCRS地区 社会福祉協議会	50,000	70,000	215,000
14	ふれあいの丘地区社会福祉協議会	50,000	110,000	240,000
	合計	700,000	1,680,000	2,795,000

令和4年度「つつき あい基金」助成金 配分団体

資料5

①新しい生活様式に合わせた、地域福祉保健活動を活性化するための活動方法や組織運営等のあり方に関する検討費用

No.	新規／継続	団体名 代表者名	具体的取組	助成金額	事業の目的
1	新規	茅ヶ崎南MGCRS 連合自治会 萩野 幸男	福祉保健活動を活性化させるための活動方法や組織運営のあり方の検討をし、外部講師から学ぶ。	30,000円	①当地区では福祉保健活動が行われているが、住民に認知されていない。広報が不足しているとの声があることから、効果的な広報を実施し、必要な方に福祉保健の支援が届くようにする。必要な方に支援が届くための効果的な広報について検討する場をもつため。 ②福祉保健活動を持続発展させていただくためには、世代間で途切れない担い手がいることが重要で す。地区にふさわしい組織運営方法等について、外部講師等から学ぶことにより、福祉保健活動を進化させる。

②区計画及び地区別計画の推進に関する広報紙の発行

No.	新規／継続	団体名 代表者名	発行部数、回数	助成申込金額	事業の目的
1	継続	茅ヶ崎南MGCRS 連合自治会 萩野 幸男	3,000部 年2回予定	15,000円	地域における福祉保健活動の広報・周知不足を解消するために広報を発行する。（令和3年度も発行。年2回）
2	新規	山田連合町内会 宮本 誠一	5,400部 年4回予定 （すみれが丘町内会2回 南山田町内会2回）	20,000円	広報紙により、町内活動を理解・協力する基盤の情勢を図りながら、誰もが参加できるイベント・ボランティアの情報を届ける。

③新しい生活様式に合わせた、地域福祉保健活動を活性化するためのツール・資材の整備やホームページ、SNS等による周知・啓発に係る初期導入費用

No.	新規／継続	団体名 代表者名	購入予定品名	購入品の使途	助成金額	事業の目的
1	新規	荏田南連合自治会 横手美枝子	情報誌の印刷、作成 ホームページ上での情報提供	情報誌「荏田南安心便利ノート」の更新と全戸配布 情報誌のホームページ上での情報提供	100,000円	荏田南地区に特化した情報（例えば、地域活動、医療・福祉、施設店舗、生活支援、防災、子育て、ペット）を提供することで、既に居住している住民や活動団体だけでなく、新たに荏田南に居住する住民、活動団体も支援できる情報誌とする。 また、新たな生活様式に合わせるため、広報媒体を2種類用意し、普遍的な情報については従来通りの冊子版を作成する。内容が変更するような情報については電子版として荏田南地区のホームページ上に掲載し（冊子版から二次元コードでリンクさせる）、必要に応じて情報を更新する。若い世代も含めた幅広い住民に活用してもらえる情報誌とする。